

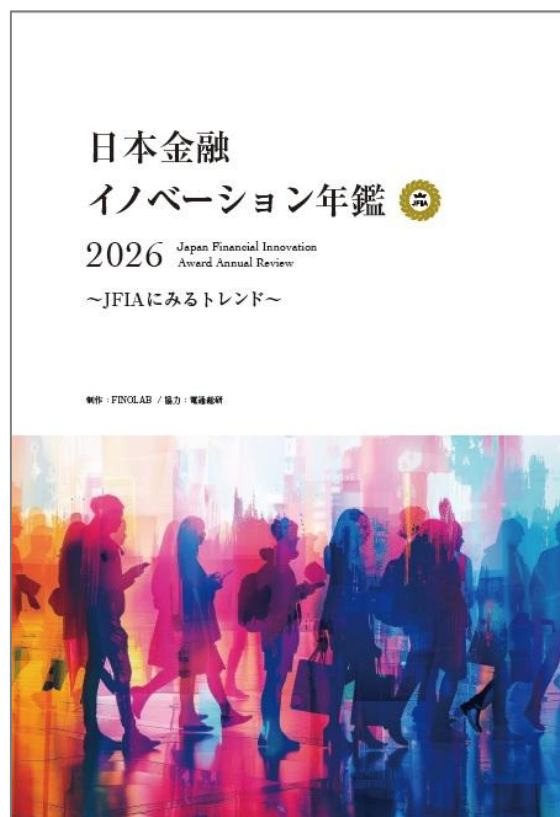
関係各位

株式会社 FINOLAB

FINOLAB による『日本金融イノベーション年鑑 2026』の発刊

～ 6月30日に発刊記念イベントを開催！参加者特典として書籍をプレゼント～

株式会社 FINOLAB（本社：東京都千代田区、代表取締役：小多 康顕、以下「FINOLAB」）は、このたび「Japan Financial Innovation Award（JFIA：ジェイ・エフ・アイ・エー、以下 JFIA）2026」の表彰内容に加え、過去の受賞全企業を収録した『日本金融イノベーション年鑑 2026』を発刊しました。



『日本金融イノベーション年鑑 2026』（制作：FINOLAB 協力：電通総研）

<定価> 印刷版：1,980円 電子版：1,320円（いずれも税込）

オンデマンド及び電子版で販売

Amazon URL: <https://www.amazon.co.jp/dp/4909993355>

（楽天ブックス、三省堂書店でもオンデマンド販売中）

本書には、「JFIA」の趣旨や選定方法、年ごとの受賞企業、大賞、各部門優秀賞の内容と講評が記載されており、その年のイノベーションと金融テクノロジーのトレンドを知ることができる内容になっています。金融業界の方や、最新のテクノロジーに関心のある方々には特におすすめの一冊です。

また、書籍の発刊を記念して、FINOLAB 主催「イノベーションを加速させる図解コミュニケーション術 ～金融の現場で使える図解思考～」というイベントを開催いたします。

<発刊記念イベントについて>

【日本金融イノベーション年鑑 2026 発刊記念】

イノベーションを加速させる図解コミュニケーション術 ～金融の現場で使える図解思考～

日本金融イノベーション年鑑
2026 発刊記念

イノベーションを加速させる
図解コミュニケーション術
～金融の現場で使える図解思考～

6.30 火 18:30-20:30

FINOLAB イベントスペース

2000円 (日本金融イノベーション年鑑2026プレゼント)

Metagram
高野 雄一氏
(Metagram 代表取締役)

『日本金融イノベーション年鑑 2026』に掲載の図を解説しながら、"日常業務の中で使える"実践的な解決策として「図解コミュニケーション」をご紹介します。特別なセンスに依存せず、誰でも再現可能な形で、以下について金融業界での具体例とともに解説いたします。

- ・認識のズレを可視化する方法
- ・コミュニケーション設計
- ・現場で即使える図解フレームワーク

【イベント参加申込ページ】

<https://fintechzukai.peatix.com/>

【開催概要】

- ◆日程 : 2026年6月30日(火) 18:30-20:30
- ◆会場 : FINOLAB イベントスペース (東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 4F)
- ◆定員 : 40名(先着順)
- ◆参加費用 : ¥2,000 (日本金融イノベーション年鑑 2026 進呈、および懇親会参加費用を含む)
- ◆対象 : 金融業界に限らず、図解で伝える力を高めたい方ならどなたでも
- ◆主催 : FINOLAB
- ◆タイムテーブル

○18:30-19:00 日本金融イノベーション年鑑の図解紹介

- ・日本金融イノベーション年鑑の紹介/株式会社 FINOLAB 柴田 誠
- ・日本金融イノベーション年鑑の図の解説/株式会社 Metagram 高野 雄一 氏

○19:00-20:00 図解ワークショップ

株式会社 Metagram 高野氏による金融業界図解ワークショップ

○20:00-20:30 書籍の抽選会、ネットワーキング及び書籍販売

軽食・ドリンクをご用意してお待ちしております。

※講演内容・プログラムは都合により一部変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

◆参加費に含まれるもの

- ・特典 ・ご参加いただいた全員に、『日本金融イノベーション年鑑 2026』をプレゼント
- ・抽選で、高野氏の最新刊『話のうまい人は頭のなかで「見えない図」を描いている』をプレゼント
- ・ワークショップ後は軽食・ドリンクつきのネットワーキングタイムをご用意

◆登壇者プロフィール

高野 雄一氏（株式会社 Metagram 代表取締役、東京理科大学オープンカレッジ講師）

あらゆるモノゴトを図解で多視点から構造化して可視化する図解の専門家。

高卒で自動車工場で働くキャリアからスタート。独学で勉強しながら学費を貯めて東京理科大学へ入学。2015年に富士通マーケティング（現：富士通 Japan）へ入社後、営業を経て DX コンサルタントとして従事。社会人学生として慶應義塾大学大学院 SDM 研究科を修了し、図解に関する論文を執筆。図解を用いた思考法『ダイアグラム思考』を創案。提供する講演・研修プログラムはキャンセル待ちが出るほど注目度が高く、参加者数は延べ 1.2 万人を超えている。

< 「Japan Financial Innovation Award」 とは >

JFIA は、金融分野における情報通信技術を活用した先進的な取組みを促進し、業界内でのベストプラクティス共有を図ることに加え、企業グループや業種の垣根を超えたオープンイノベーションのさらなる拡大を願い、2020 年に設立した表彰制度です。スタートアップ、金融機関、コラボレーションの 3 カテゴリーから成り立っています。日本を代表するフィンテックセンターである FINOLAB が事務局となり、ナレッジパートナーである株式会社電通総研の協力により、前年中にプレスリリースされた金融関連のイノベーション案件を毎年 300~500 件抽出し、その中から金融関連の専門家からなる FINOVATORS^{*1} の審査により先進性・成長性・金融業界変革の可能性といった観点からカテゴリごとの受賞企業を発表、さらなる審査を経て、大賞及びカテゴリ毎の優秀賞を決定しています。



（ウェブサイト：<https://jfia.tokyo/2026-jp/>）

^{*1} 一般社団法人 金融革新同友会 FINOVATORS（フィノベーターズ）：スタートアップ支援のプロフェッショナル（弁護士、投資家、コンサルタント、アナリスト、技術者、起業家、金融従事者、公共等）がボランティアとして参加している非営利団体。一企業や特定分野の利害を超えたグローバルな視野と未来思考によって、日本経済社会における健全なイノベーションエコシステムの形成を牽引。

< 関係者のコメント >

◆主催：株式会社 FINOLAB Head of FINOLAB 柴田 誠

2026 年は、生成 AI、ブロックチェーンによるセキュリティトークンやステーブルコイン、BaaS (Banking as a Service)、といったイノベーションの実装が日本の金融業界において着実に進展していることに加え、旧来の制度やシステム制約の中でなかなか変革できなかった領域においてブレイクスルーがみられた点特徴的でした。この 1 年間の金融イノベーションとともに、2020 年以来的の変化を振り返るために本書をご参照いただければ幸いです。

<2020 年以降のプレスリリース> ※最新順

■2026 年

金融イノベーションを表彰する「JFIA 2026」大賞は、
SBI 証券、新生信託銀行、東京海上アセットマネジメント、BOOSTRY の
「個人投資家向けのセキュリティトークンによる PE 投資商品」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000049702.html>

■2025 年

金融イノベーションを表彰する「JFIA 2025」
大賞は、東日本旅客鉄道株式会社、楽天銀行株式会社の「JRE BANK」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000048.000049702.html>

■2024 年

金融イノベーションを表彰する「JFIA 2024」
大賞は、株式会社エンペイの「koufuri+」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000041.000049702.html>

■2023 年

イノベーションを表彰する「JFIA 2023」
大賞は、株式会社クレディセゾンの「SAISON CARD Digital for becoz」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000034.000049702.html>

■2022 年

金融イノベーションを表彰する「JFIA 2022」
大賞は、株式会社北國銀行の「クラウド勘定系システム稼働」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000049702.html>

■2021 年

金融イノベーションを表彰する「JFIA 2021」
大賞は、Alpaca Japan 株式会社と株式会社 FOLIO の「FOLIO ROBO PRO」
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000019.000049702.html>

■2020 年

FINOLAB と FINOVATORS、「JFIA 2020」大賞と優秀賞を発表
～ 大賞はふくおかフィナンシャルグループが受賞 ～
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000049702.html>

■FINOLAB について <https://finolab.tokyo/jp/>

FINOLAB (The Fintech Center of Tokyo, FINOLAB) は、世界有数の国際金融センターである東京・大手町エリアを拠点とする FinTech のエコシステムの形成および新規ビジネス創出を目的とした会員制のコミュニティ&スペース。2016年2月に日本初の FinTech 拠点として三菱地所株式会社、株式会社電通および株式会社電通国際情報サービス（現 株式会社電通総研）の協業により開設、2019年に株式会社 FINOLAB を設立。2026年5月現在、国内外の金融関連スタートアップ 61社、業界団体 5団体、事業法人 20社が参画。

FINOLAB CHANNEL : <https://www.youtube.com/finolabchannel>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 FINOLAB 担当 齊藤

E-Mail : info@finolab.co.jp